

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 7 月 20 日 (2017.7.20)

【公表番号】特表 2016-534882 (P2016-534882A)

【公表日】平成 28 年 11 月 10 日 (2016.11.10)

【年通号数】公開・登録公報 2016-063

【出願番号】特願 2016-537148 (P2016-537148)

【国際特許分類】

B 2 3 K 37/04 (2006.01)

E 0 1 B 26/00 (2006.01)

B 2 5 H 1/04 (2006.01)

【F I】

B 2 3 K 37/04 A

E 0 1 B 26/00

B 2 5 H 1/04

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 6 月 2 日 (2017.6.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

溶接テーブル用の軌道システムのための軌道 (300) であって、床 (600) の上または中に固定するように構成され、溶接テーブルに対応した複数の開口穴 (304) を有する基盤軌道 (301) を含み、基盤軌道 (301) の陥凹部 (305) 内に、丸レール (306) が固定されており、

軌道 (300) が、傾斜防止エッジ (313) を含み、ローラー脚 (500) の傾斜防止装置 (503) と協働するように構成された傾斜防止陥凹部 (309) を有し、

傾斜防止陥凹部 (309) が、軌道 (300) の上面 (308) に設けられており、傾斜防止エッジ (313) が、軌道 (300) に取り外し可能に固定されており、傾斜防止陥凹部 (309) に部分的に張りだした傾斜防止傾斜防止棧 (311) で形成されていることを特徴とする、前記軌道 (300)。

【請求項 2】

溶接テーブル用の軌道システムのためのローラー脚 (500) であって、本体部 (501)、ローラー (502) および傾斜防止装置 (503) を含み、ローラー (502) が丸レール (206、306) と協働するように構成され、傾斜防止装置 (503) が軌道 (200、300) の傾斜防止陥凹部 (209、309) および傾斜防止エッジ (210、313) と協働するように構成され、

傾斜防止装置 (503) が、傾斜防止鉤 (517) または傾斜防止ロール (520) を備えた、本体部 (501) に取り外し可能に固定された傾斜防止耳 (510、516、517) を含む、前記ローラー脚 (500)。

【請求項 3】

傾斜防止耳 (510、516、517) が、本体部 (501) に対して 2 つの異なる姿勢で固定可能であることを特徴とする、請求項 2 に記載のローラー脚 (500)。

【請求項 4】

本体部 (501) の脚板 (506) に、軌道 (200、300) の開口穴 (204、3

04) または溶接テーブルに対応した開口穴(514)を有しており、それによって締め付けボルト(522)を用いてローラー脚(500)が軌道(200、300)上に格子位置に固定可能であることを特徴とする、請求項2または3に記載のローラー脚(500)。

【請求項5】

脚板(506)の2つの対向する側面に、拭いブラシ(512)を有することを特徴とする、請求項2または3に記載のローラー脚(500)。

【請求項6】

すくなくとも一つの、請求項1に記載の軌道(300)、および、すくなくとも一つの、請求項2～5のいずれか一項に記載のローラー脚(500)を含む、溶接テーブル用の軌道システム。

【請求項7】

すくなくとも一つの連結枠(418)を含む、請求項6に記載の軌道システム。